

ふれあいほしごと 「すみれ会」

題字

牟礼東小学校1年

2017

3/31

No.132

HUREAI POKETTO



「地域づくりで介護予防！」

赤東地区の通いの場「すみれ会」

毛野地区有志によるグループ「すみれ会」は、29年度より町の総合事業の一環として通いの場づくりの取り組みを始めます。

「介護予防を充実し、生涯をいきいきと安心して暮らすことのできる地域へ」という想いを形に。

すみれ会は、大きな一歩を踏み出します。※詳細は、次ページをご覧ください。

●●●主な記事●●●

- P 2 住み慣れた地域でいきいきと
～毛野地区の取り組み～
- P 3 地域福祉フォーラムが開催
されました
- P 4 お知らせコーナー
- P 5 自然育児のススメ
いづなの事業所紹介
- P 6 まちがいさがしクイズ
新 ささらばさら(4コママンガ)
りんごのつぶやき

住み慣れた地域でいきいきと 毛野地区の取り組み

本格的な人口減少社会を迎え、社会の効率性の向上が求められるなか、新たな地域づくりの取り組みが町内各地区で始まっています。

毛野地区「すみれ会」の取り組み

すみれ会は、平成29年4月から公会堂を会場として、※1新しい総合事業における通所型サービスを毎月2回実施します。

会は、28年度までは社協が推進する「いきいきサロン」として運営していましたが、地域にはサロンに参加していない、または参加することができないために孤立の問題を抱える人や心身の機能低下が進んでいる人がいます。

そこで、会では、介護予防に取り組む場としての地域の※2通いの場の魅力を改めて発信し、また会場へと行くことができる方への移動を支援することを目指しています。

新しい総合事業の特長

飯綱町での新しい総合事業における通所型サービスでは、毎月2

回以上の開催が必要など、町が定める基準を満たす必要がありますが、その普及と安定的な運営のため、備品の購入代などへの助成と、さらに※3事業対象者を受け入れることによる人件費が助成されます。

また、対象地域内に同じく町が定める基準を満たした団体による通いの場への移動支援サービスがあれば、会場までの移動が困難であった人の移動手段を確保することができそうです。

定期的かつ継続的に利用のできる通いの場を住民主体で展開することを目指す新しい総合事業は、会が目指すそのものであったといえます。

他地区への拡がりに期待

すみれ会のサービスは、毛野地区住民であれば誰でも利用できるほか、赤東（東柏原・上赤塩・下赤塩・奈良本・扇平）住民は一定の要件（事業対象者など）を満たした方が原則として無料で利用できます。

また、会場までの移動が困難な方には、事業対象者を中心に通いの場への移動支援サービスを提供

する赤東運転ボランティアのサービスが利用できます。

独居世帯、認知症高齢者の増加など地域を取り巻く環境が大きく変化するなか、支え合い活動、介護予防活動の拠点として、通いの場の取り組みのさらなる広がりが期待されます。

※新しい総合事業、本記事の詳しい内容に関するお問い合わせは、左記までご連絡ください。

■飯綱町社会福祉協議会

電話：253-8456

通いの場 Q & A

Q 通いの場にはどんな効果がありますか

A 地域ニーズ（需要）が集まる場所であり、問題解決（サービス開発）が図られる場所でもあります。また、住民同士の結びつきが強い地域は、信頼・協力関係ができるため、福祉・保健・教育などの向上に相乗効果が期待されます。

Q 必要なのはわかるけど、何をどう進めていいのかわからない

A 飯綱町社会福祉協議会（電話 253-8456）が制度や手続きについて説明し、発足をお手伝いします。お気軽にご相談ください。

Q すみれ会のサービスを利用したい

A 毛野地区にお住まいの方であれば誰でも利用できます。赤東地区にお住まいの方は地域包括支援センター（電話 253-2485）にご相談ください。

※1 新しい総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）

介護保険制度によるサービスだけではなく、地域住民をはじめ、企業、地縁団体など多様な担い手による高齢者の支援体制を、地域の中につくっていくことを目指すもの。

※2 通いの場

公会堂など歩いて通える範囲に設置された「サロン」「コミュニティカフェ」「ミニ体操教室」などのこと。地域住民が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、社会参加や生きがい、住民同士の信頼関係づくり、介護予防を推進する。

※3 事業対象者（飯綱町）

平成29年度以降に認定を受けた要支援者、基本チェックリスト（身体や生活等に関する25の質問リスト）該当者など。町の窓口（地域包括支援センター）での基本チェックリストの実施及び面談内容により決定される。

第11回 地域福祉フォーラム

「もしもの時に頼れる制度 講談で学ぶ！成年後見制度」

現在地域には、認知症や重度の障害により、お金の管理や契約等が難しい方も暮らしています。このような方を支援するために「成年後見制度」があります。超高齢社会を迎えた日本において、この先さらに必要となってくる制度です。

今回の地域福祉フォーラムは、講師として活躍されている神田織音氏をお迎えして開催されました。成年後見制度がより身近なものとして感じられたのではないのでしょうか。

寸劇

「もしも判断能力が…」

認知症状を患う一人暮らしの「カズおばあちゃん」が様々な契約を結ばれそうになる中、ご近所の方・つながり隊・有償助け合いサービス協力者などの地域の皆さんとの日常の『つながり』によって、金銭管理をはじめとする適切な契約の支援を行う『成年後見補佐人』につなぐ、というお話でした。演じていただいたのは、ボランティア連絡会の皆さん。熱



皆場まの来き勢ごだいた様いたした！

のこもったユーモア溢れる演技に、会場の皆さんからは「内容がわかりやすかった」「とても身近に感じて勉強になった」などの声が聞かれました。

講談ってなに…？

講談とは、『聞く再現ドラマ』です。張り扇で釈台と呼ばれる台を叩きながら主に歴史物を話します。張り扇で勢いよく釈台を叩くタイミングは…①話の中の状況が変わるときや時間が経過するとき、②力を入れて皆さんに伝えたい場面などです！

講談①

「ボケちゃいないよ」

認知症の疑いがある「りんおばあちゃん」に対して、現実を受け入れられず、様々な葛藤を抱える家族についての一席を披露していただきました。

認知症というのは、自覚症状が出にくく、周りの方の気づきが不可欠です。身内の方の認知症を認めることは、家族にとっては非常に難しく、辛くて悲しいことです。しかし発見が遅れる事で逆に症状が進み、より長く深刻な介護を強いられることにもなります。まずは、本人を否定せずに受け

入れ、地域包括支援センターや、もの忘れ外来などの外部機関へ受診することの重要性を説いた、認知症予防の一席でした。

講談②

「ナオト君だって一人の人間なんだよ」 「親亡き後を心配して」

脳の重度損傷による重い障害を持つナオト君は18歳を迎えようとしていました。20歳になると親は親権を失うため、ナオト君は今後、契約や財産管理などを行わなければなりません。ナオト君に変わって意思を代理する『後見人』を決めていかなければならないのです。判断能力が無くても安心して暮らして生きていくために…。

親亡き後

に託せる『成年後見制度』の一席を披露していただきました。



平成29年度春秋の 古紙回収のお知らせ

28年度は大勢の皆様のご協力により13・6tもの古紙が集まりました。29年度も左記のとおり実施します。ご協力をお願いします。

◆回収日

春 5月9日（火）

秋 10月5日（木）

※いずれも午前8時30分まで
（時間厳守）

◆回収できるもの

広告紙、牛乳パック、包装紙、
カレンダー、カタログ、封筒、
コピー用紙、はがき、
アルミ付き紙パック等

◆回収できないもの

新聞紙、ダンボール、週刊誌、
マンガ本

※こちらは町の古紙類回収日
にお出しください。

◆回収場所《西地区》

袖之山 公民館玄関前
上村 公民館玄関前
古町 ゴミステーション
野村上 公民館玄関前
高坂 ゴミステーション
中宿 倉庫前
横手 ゴミステーション
夏川 コミュニティセンター
地蔵久保 公民館玄関前

東高原

天狗の館
グートボール場

北川

資源置き場
グートボール場横
収集場

坂口

坂口バス停

◆回収場所《東地区》

平出 集落センター

福井 集落センター

坂上 公民館玄関前

東黒川 倉庫前

四ツ屋 資源置き場

栄町 コミュニティセンター
資源置き場

番匠 公民館玄関前
資源置き場

福井団地 コミュニティセンター

小玉 公民館玄関前

牟礼 公民館玄関前

西黒川 コミュニティセンター

回収日には、旧牟礼中央保育
園にて8時30分～16時まで
作業を行なっておりますので、
直接お持ちいただいても結構
です。

◆お問合せ

古紙のリサイクルを考える会
電話253-7552（荒井宅）
253-3064（小林宅）



平成29年度オレンジカフェ 開催のお知らせ



オレンジカフェ（認知症カフェ）
とは、『認知症の人と家族・地域住
民・専門職など、誰もが参加でき、
人と人が繋がり、お話や情報交換
などができる場所』となっていま
す。普段話せないことなど、この機
会にお話し下さい。

●開催予定日

4月17日・5月15日・6月19日

7月10日・8月21日・9月11日

10月16日・11月20日・12月18日

1月15日・2月19日・3月19日

※いずれも、月曜日になります。

●会場

元気の館 つどいの部屋

（飯綱町牟礼1998）

●時間

10時～11時30分

●参加費

100円（お茶代として）

●お問合せ

詳しく知りたい方は、下記センタ
ーまでお気軽にご連絡ください。

街中サロン「楽しく」 開催のお知らせ



街中サロン「楽しく」は、地
域の活性化を目指し、地域の皆
さんが誰でも気軽に集まれる
『憩いの場』です。皆さんでゆ
つくりとした時間を過ごしまし
よう。

●開催予定日

毎月第2・第4金曜日

●会場

飯綱福祉センター ロビー

（飯綱町牟礼27955）

●時間

9時30分～11時30分

※7月・12月は特別行事を行う
予定です。

7月28日（金）

七夕飾り

12月22日（金）

餅つき

●お問合せ

飯綱町ボランティアセンター

電話：253-1001

FAX：253-1002

《自然育児》のススメ ～子供への言葉③～

子供は、親の言葉よりも、親自身のふるまひの方を、しっかりと受け取っているように思います。例えば「片付けてね」と言っても、親が普段から片付けていないと、或いは先に片付け始めないと、実際には片付かない…。

子供の自我や経験値が育つと、特に面倒なことなどについては、親の無意識な想い（面倒く）も嗅ぎ取ってしまうようです。

子供は親の至らない部分を教えてくれる、かけがえない存在です。表面的な言葉掛けをしていると、やはり表面的な行いで返して来ます。言葉の力も大切ですが、その言葉に親のふるまひを合わせないと！

子供への声かけ、親の関わり方の参考に、ネイティブアメリカンの諺（ことわざ）や

佐々木正美先生、汐見稔幸先生、平井信義先生などの著書をおすすめします。

読書の時間は取りにくいのですが、親の感性と親のエゴをはき違えないように、育児学（何故か男性ばかり？）のご意見も良いと思います。

by 唯〇母

自然育児のススメでは、テーマを募集しています。子どもに関すること・子育てについて悩んでいることや不思議に思っていること・聞きたいことなどがございましたら、まちがいさがしクイズの感想欄または、左記までご連絡ください。よろしくお願ひ致します。

電話：253-8456

FAX：253-2907

Eメール：

ishakyo@ii-shakyo.or.jp

飯綱町の事業所紹介

《社協以外の事業所を紹介します》

あおぞらスケッチ

社会福祉法人
林檎の里
あおぞら

★おやつ作り★

寒さが緩み、雪解けが始まってきました。あおぞらでは、おやつにホットケーキを作り、りんごをうさぎの形に切って食べました。普段は2ヶ月に1回、りんごパークセンターにて利用者様向けに料理教室を実施しています。今回はあおぞらでも出来る、簡単な「おやつ作り」を体験しました。

ホットプレートに生地を流してホットケーキを焼いている間も、皆さん笑顔で楽しまれている様子でした。ある利用者は、りんごを包丁で器用にうさぎの形に切って他の方にも配って下さいました。参加された皆様は自分で作ったホットケーキやりんごを美味しく召し上がっていました。

今後もおおぞらでは料理教室だけではなく、利用者様が楽しめるような企画を行い、日々の生活が豊かになるよう支援に取り組んで参ります。

だい 第130回 かい まちがいさがしクイズ かいとう 解答

答え

- ① 女の子が持っている花
- ② 女の人の髪形
- ③ おじいさんのメガネ

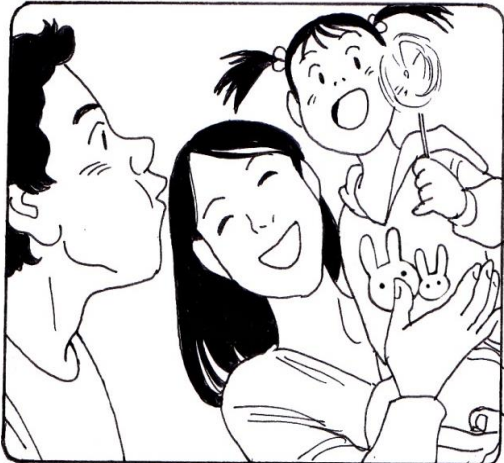
大川 藍加 様 / 清水 すみ子 様 / 滝沢 陽子 様
佐藤 憲明 様 / 羽入田 隆也 様

上記の皆様が当選されました。おめでとうございます。
当選された方の景品につきましては、飯綱カード協同組合からのご協力をいただいております。

Q まちがいさがしクイズ♪

—第131回— 今月も「まちがいさがしクイズ」に挑戦
正解者の中から5名様に素敵なお楽しみプレゼント!

新 84
こぼれしるす



※第130回まちがいさがしクイズの答えと当選者の発表は前ページに掲載してあります。

ハガキ表

52

389-1201

飯綱町芋川181

飯綱町社会福祉協議会

「まちがいさがし」

ハガキ裏

- ・答え
- ・住所
- ・名前
- ・電話番号
- ・今月号の感想、自然
- ・育児のススメでとり
- あげてほしいテーマ
- などについて

左右の絵を見比べて3つの間違いの答えがわかった方は、左記の要領で記入の上、ご応募ください。社協ホームページクイズ応募フォーム又は社協来所による応募も受け付けております。(町内在住の方に限ります) 締切りは、4月14日(金)です。【消印有効】多くの皆様のご応募お待ちしております。



寄付

池田 義則 様

お米 30 kg

仲俣 孝志 様

お米 100 kg

川上 マレット

ゴルフ 様

53,055円

こぶし 会 様

18,000円

ブルーベル 様

50,000円

地域福祉の推進に活用
させていただきます。
ありがとうございます。



りんごのつぶやき

長野市の真島小学校で、二年前から児童が地元の区関係者やボランティアや慶応大学の学生らと一緒に「だんごむしプロジェクト」という防災関連の取り組みをしていて、報告会をやるというので聞きに行ってきた。児童が自分たちで地元を歩き、災害時に危ないと思った場所(例えば塀が崩れて下敷きになりそうな場所)などを地図に書き込んで地域の人の前で発表したり、児童が自ら作った災害時の非常持ち出し袋を披露したり、野外で地震に遭遇した時、咄嗟に身の安全を守るためのポーズを披露したり(それが「だんごむし」のポーズで、だからこの取り組みも「だんごむしプロジェクト」と言うそう)、そういう「防災」の取り組みを大学生の助言を得ながら、地域の大人と一緒に考え実践していることが面白いと思った。

防災活動は多くの地域で消防団や役場や消防署など、地元の大人中心に取り組まれることが多いが、小学生中心の取り組みが行われたり、よその大学生も関わることで何となく地域に「わくわく感」が生まれてくるように感じた。

この日、小学生は「活動を通して自分も真島地区が好きになった」と発表していたし、大学生も「自分たちのような者が地域活動に関わって、やりがいを感じた」と話していた。それを聞いていた地元の方も彼らの声で自分の地域の良さを見直していた様子だった。子供や若者、よそ者が関わりとわくわくする地域活動になるように感じた。